

## 第8回南区自治協議会 議事概要

日 時 令和4年12月21日(水) 午後2時～午後3時

会 場 新潟市南区役所4階 講堂

- 次 第
- 1 開会
  - 2 部会報告
  - 3 議事  
(1) 令和5年度特色ある区づくり予算について(地域総務課)
  - 4 報告  
(1) 南区自治協議会委員推薦会議について  
(2) 「しろねカイトタウン前」バス停移設について(報告)(地域総務課)  
(3) 区自治協議会会長会議について  
(4) その他
  - 5 次回全体会の日程について  
1月25日(水) 南区役所 午後2時30分から  
※全体会開会前に、区教育ミーティングを開催(午後1時30分から)
  - 6 閉会

### 事前配布資料

- 資料3 次期(令和5・6年度)南区自治協議会委員の構成等について(案)  
資料4 「しろねカイトタウン前」バス停移設について(報告)

### 当日配布資料

- 資料1-1 南区自治協議会第1部会 会議概要  
資料1-2 南区自治協議会第2部会 会議概要  
資料1-3 南区自治協議会第3部会 会議概要  
資料2-1 令和5年度南区特色ある区づくり予算一覧(区自治協議会提案事業)(案)  
資料2-2 令和5年度南区特色ある区づくり予算一覧(区役所企画事業)(案)

出席委員： 井上吉一委員，田中美智郎委員，久保安夫委員，豊木 宏委員，  
川村朋生委員，有田正己委員，鞠子幸一委員，富井 敦委員，  
笹川和代委員，山坂和夫委員，渡邊喜夫委員，大矢洋子委員，  
宮崎岩男委員，松尾正行委員，野沢文江委員，小嶋ノリ委員，  
阿部隆一委員，高橋直廣委員，西山久子委員

以上19名

欠席委員： 関川秀明委員，小林正義委員，星野 誠委員，鈴木皓旦委員，  
佐藤隆行委員，板谷昭人委員，日浦 徹委員，荏原宏美委員，  
半間奈菜委員

事務局：(南区)五十嵐区長，山際副区長，藤野区民生活課長補佐，佐藤健康福祉課長，  
石崎産業振興課長，細貝建設課長，小菅南区教育支援センター所長，  
鈴木地域総務課長補佐，高橋地域総務課長補佐，地域総務課職員  
〔Webによるリモート出席(南区)〕川村味方出張所長，登石月潟出張所長，  
和田白根地区公民館長

報 道 0名

傍聴者 0名

(午後2時00分)

## 1 開会

○事務局（鈴木地域総務課長補佐） （配布資料の確認）

○議長（高橋会長） それでは、ごあいさつ申し上げます。今月18日、サイン整備事業検証会議という会議を白根学習館で開催させていただきました。これは、しろね大凧タウンガイドが2018年から3か年事業で取り組んだ「白根のまち・小路等サイン整備事業」で、2020年に完成しました53枚42カ所の案内標識について、果たして効果があったのかどうかを検証し、今後の協働のあり方を検討するという会議でした。アンケートでは、案内標識は高い評価を得ることができました。新潟まちづくり学校校長の大瀧聡さんからは、「この事業の特筆すべきことは、市民団体がここまで本格的に公共空間の整備を行うというのは稀なことです。一市民団体ではこの種の維持管理は限界があるので、ここから先は行政をはじめさまざまな関係団体との協働をさらに進めていく必要があります。このサイン整備事業が今後のまちづくりの大きな原動力になることを期待しています。」と述べておられます。整備後の2年間、この案内標識に行政が動画を配信したり、イベントで活用したりと、さまざまな形で支援をしていただきました。ただ市民団体が設置者のため、屋外広告物許可申請等は3年ごとに更新申請が必要となって、更新手続きの費用やかなりの手間を必要とします。話し合いでは、今後の維持管理や活用方法について前向きな多くの意見が出され、ある程度の方向性が見い出せた会議となりました。

案内標識をとおしてもまちづくりの事例紹介はこのくらいにさせていただきますが、もう一つ、皆さま方に情報提供です。テレビ放映の情報をお伝えしたいと思っています。大河津分水完成に尽力された古川出身の田沢実入を特集した番組が、24日午前9時半からテレビ新潟で放映されます。よろしければぜひご覧いただき、大河津分水完成100年という年でもあります。そこに一番尽力された田沢実入の紹介がありますので、ぜひご覧いただければと思っております。

それでは、本日の会議を進めます。

欠席者の報告

傍聴者の報告

取材申込の報告

## 2 部会報告

○議長（高橋会長） 次第2「部会報告」に入らせていただきます。部会の検討状況を各部会長から報告してもらいます。

はじめに、第1部会長から報告をお願いいたします。

○鞠子委員 第1部会を担当しております鞠子です。

第1部会は、12月14日1時半から行いました。内容は、令和5年度の特徴ある区づくり予算の区役所企画事業について担当課からご説明をいただきました。その中で出た意見として、「区バス乗車促進事業」として事業の実施時期を来年度以降の予算になりますが、高校生年齢を対象とすることから、将来までにつなげるような意味での価値があるというご意見がありました。また、これも事業を実際する際は、4月から始まっても、例えば白根高校の子どもたちはもう定期券を買ってしまっているかもしれませんので、そういう形も含めてアナウンスを早めに行うと効果的だという意見も出ました。

また、「南区未来創生事業」として、事業内容である「白根高校の魅力アップ」につきましては、「区バス乗車促進事業」と連携できれば相乗効果が見込まれるという意見も出ました。

2番目といたしましては、これは第1部会が行う令和5年度の提案事業です。この中で丸の一つ目でこの前も松尾委員からいいじゃないかと言われたのですけれども、区民の清掃意識やモラル向上につなげるために、日にちを全部合わせて、できれば土日になるのかもしれませんが、小学校とか中学校とか、皆のぼりを立てて、子どもたちは出られないとしても、例えば先生たちが1時間でも掃除をやるとか、それをマスコミなどを使って広めていただいて、皆で何かを

やるという一つとして掃除をとったという形になりますので、今、私の個人的な原案を作成しておりますので、これは2月にもう一度部会で内容をまとめまして、ご提示したいと考えております。

それから丸の二番目なのですが、これは前回から懸案事項だったのですけれども、「南区ウォーク&ライド体験事業」ということで、これは防災意識の醸成を目的に、防災のいろいろなことを学ぶという形で、ここも区バスをうまく利用して企画を第1部会として実施するという形に決定させていただきました。

3番はその他。今回は、1月は休会としまして、2月8日1時半から行います。以上、報告です。

○議長（高橋会長） 続いて、第2部会長から報告をお願いいたします。

○小嶋委員 第2部会の小嶋です。

第2部会は、12月12日に行いました。令和5年度南区特色ある区づくり予算の区役所企画事業のうち、第2部会所轄分野のものについて各担当課より説明がありました。委員から出た主な意見は、記載のとおりです。「児童館利用促進事業」では、「移動児童館」を実施するだけでなく、例えば区バスを活用して臨時バスを運行する。児童館のない地域からも来てもらうための手立てを考えられないかという意見。そして、来ることができない子どもたちのニーズをていねいに把握し、保護者にアピールしたほうがよい。

2番目、令和5年度自治協議会提案事業についてです。「南区『家族ふれ愛』月間事業」です。継続11年目となる事業、これまで絵画・川柳展のほか講演会等も実施してきましたが、内容を見直し、さらにブラッシュアップしながら実施したいと思います。

「夏休み宿題サポート事業」です。子どもたちの夏休みの宿題をサポートすることで、子育て世帯の負担軽減を図るとともに、地域の人材を活かし、学習支援と併せて世代間交流の場をつくりたいと思います。

そのほかとして、『家族ふれ愛』絵画、標語・川柳展についてです。事業が終了し、各学校へ作品返却と記念品等の配布を行いました。

今回の日程は、2月6日です。以上です。

○議長（高橋会長） 続いて、第3部会長から報告をお願いいたします。

○富井委員 第3部会の富井です。

第3部会では、12月13日1時半より開催いたしました。1番としまして、令和5年度の南区特色ある区づくり予算の区役所各事業について、各事業担当者から説明を受け、質疑応答を行いました。主な意見としては「Live!At白根大風合戦事業」についてですが、北風の良くない2日間の撮影ということが今年はありませんけれども、来年度は5日間の撮影ということで期待したいという意見が出ました。

「南区未来創生事業」についてですけれども、第四北越銀行がももラコッテに移転したことでまちが閑散となっていますので、何か考えていく必要があるのではないかという意見が出ました。

もう一つは、「未来につなぐ文化プロジェクト事業」についてですけれども、「凧っこ13人衆」のキャラクターをもっと活用してTシャツなどを作り、子どもたちに提供するなど、いろいろな周知を検討していただきたいという意見が出ました。以上です。

令和5年度の自治協議会第3部会の提案事業ですけれども、「南区おいしいもの満載お宝探訪事業」は、今年開催した南区味わい市場をもっと拡大しまして、白根露店市場と同時開催し、味わい市場と六斎市の魅力を発信して、もっと広げていきたいということになりました。

もう一つ、「産業・伝統・味覚南区3セットツアー事業」はこれから検討して、南区の特色を生かした企画をし、検討、打ち合わせ、実行していきたいということになりました。

今回は、1月は休会して、2月7日ということで予定しています。以上です。

○議長（高橋会長） ありがとうございます。ただいまの報告につきまして、ご質問がありましたらお願いいたします。

○鞠子委員 第2部会のところで、この前の第1部会の内容の説明の中で、児童館の利用促進事業という形で第1部会でも話が出たのです。第1部会が、今、北部、南部とか、南区が新潟市の

中でも一番児童館が充実している中で、なかなか子どもたちが集まらない。北部のうちのそばにあるところについては、年2回、ワーカーズコープがいろいろなアイデアを出しながら一生懸命イベントをやっているのですけれどもなかなか集まらないので、その中でお話をさせていただいたのは、これは個人的な意見かもしれませんが、やはりいろいろな規制があり過ぎるのではないかと。移動児童館とか、区バスを使つての移動児童館もそうなのだけれども、児童館にいろいろな規制があり過ぎるのではないかなど。なぜかと言うと、児童館は行政が運営していて、そのワーカーズコープが手を挙げて運営を任されているわけですから、なかなか行政にやりたいことが言えないのではないかと。例えば、お弁当を持って来て子どもたちがお昼を食べて、そして遊んでもいいのではないかと。そうすると児童館の中の飲食とか、もう一度いろいろな見直しが必要ではないかと。話が長くなって申し訳ないのですけれども、この前、財産活用課が北部児童館はあの建物がなくなったらもう運営しないみたいなことが書いてあったので、冗談じゃないと。南区はたくさんあるけれども、秋葉区はないのですよ。例えば、あるものを、ほかから0だから0にするという考え方はおかしいのではないかと。あるものに0を近づけるのが仕事ではないかと。まして来年は子どもが80万人を切ってしまうなどと今日の読売新聞に載っていましたがけれども、そのくらい子どもが減っているのだから、そういう面でも大事な場ではないかということなので、これは行政が、健康福祉課だと思ふのですけれども、児童館とタイアップしながらいろいろな形もあるので、何しろ子どもや親を集めるということターゲットにして、そこで何が問題であつて、その問題をどうしようかというところまで入っていかないと、今の状況は変わらないと思います。まして少子化の中でどうするか、そして第2部会に、今後の話ですから、そういう問題点を少し身近にアップして、行政とワーカーズコープの間に入って動いてもらうことも、よろしいのではないかとお聞きさせていただきました。よろしく願ひします。

○佐藤健康福祉課長 健康福祉課の佐藤でございます。鞠子会長、どうもありがとうございます。お弁当、要はお昼ご飯を今児童館では食べられないということは、私たちも課題だと思つていまして、例えば10時からオープンして午前中に子どもたちが来ました。でも、お昼で一旦帰ってくださいと言っても、例えば遠方から来られている子どもたちは帰る場所がないですね。そこは問題だと思つておまして、本庁の担当課にその旨を話して、その辺の課題も検討させてくれという話をしています。

この新規の区づくり事業では、移動児童館のところは前面に出ていますけれども、実は保護者、子どもたちにアンケートを取つて、ニーズであるとか今の課題、それから要望みたいなものもしっかりと把握して、令和7年度からの指定管理の仕様書に盛り込んでいくというような内容も含まれていますので、しっかりそこは検討させていただきたいと思ひます。

すでに言つてしまいますけれども、移動児童館のところでは区バスを臨時運行などという話もありましたけれども、我々はどうせやるのであれば将来的に課題が解決できるような事業をやりたいと思つていますので、そういう区バスの運行などもアンケートを取れば恐らく出てくると思ひますので、そこもしっかりと把握したうえで検討をさせていただきたいと思ひます。ありがとうございました。

○渡邊委員 南区老人クラブ連合会の渡邊です。

今、大変いい話が第3部会から出ておまして、味わい市場の件なのですけれども、南区はいろいろと味わうべきものがたくさんあると思ふのです。そこで四季折々、春夏秋冬、場合によってはこの時期はこれを味わってみたらいかがでしょうというようなPRを南区で考えて、季節ごとの味わい日ではないのですけれども、味わいを行うというような、そういう発想はいかがでしょうか。

○議長（高橋会長） 産業振興課、願ひします。

○石崎産業振興課長 産業振興課の石崎です。ありがとうございます。

区としましても、今年、地域おこし協力隊を中心として、バスツアーという形で夏と秋に、桃の食べ比べですとか、料亭割烹に行つてランチを食べたりとか、そういうツアーの企画もしております。今後、そういうことも含めて、南区に来ていただけるようなPRは今後も続けていきたいと思ひます。ありがとうございました。

○渡邊委員 大変よく分かりました。ただ、バスツアーで一過性のものでなくて、各ご家庭でそれを認識して実行できるような、そういう計画があってもいいのではないかなと、そう思いましてご提案させていただきました。

○議長（高橋会長） ありがとうございます。ほかにありませんか。  
それでは、ないようですので、部会報告についてはこれで終わりとさせていただきます。

### 3 議事

#### （1）令和5年度特色ある区づくり予算について（地域総務課）

○議長（高橋会長） 続いて、次第3「議事」に入ります。（1）令和5年度特色ある区づくり予算について、先に私から報告をした後、地域総務課から説明をお願いしたいと思っております。

それでは、資料2-1をご覧ください。先ほどの部会報告で部会長から区づくり事業の検討状況について報告をしていただきましたが、7番の「南区まちづくり活動サポート事業」について、私から報告をいたします。「南区まちづくり活動サポート事業」は、令和5年度で6年目を迎えます。これまで自治会、コミュニティ協議会、民間事業者などのさまざまな地域活動団体からご提案をいただき、事業に取り組んでまいりました。今年度も7団体を採択し、事業を実施していただいているところであります。令和5年度も、今年度と同様にこの事業の予算を250万円とし募集したいと考えております。なお、募集要項の内容については、次回の全体会で報告したいと思っております。以上です。

次に、地域総務課から説明をお願いいたします。

○山際副区長 引き続き、地域総務課からご説明いたします。資料2-2をご覧ください。こちらは、令和5年度特色ある区づくり予算のうち、区役所が企画立案する区役所企画事業の一覧です。区役所企画事業につきましては、先週の各部会におきまして、部会の関連事業の概要や予算組などをこの資料2-2の2枚目以降のA3の資料に基づきまして担当課からご説明させていただいたところです。その中で、部会の中で、委員の皆さまからご意見、ご質問またご議論いただいて、内容等についてご了解をいただいたところです。これによりまして、令和5年度の区役所企画事業は、この2-2の1ページ目の一覧表をご覧いただきたいと思うのですが、新規2事業、継続・拡充8事業の合計10事業で、予算額が2,250万円となります。

続いてA4資料の一番下の欄の自治協議会提案事業につきましては、先ほどご報告いただきました部会事業としまして各部会で100万円ずつの300万円、まちづくり活動サポート事業として250万円、合計で550万円ということで、区役所企画事業とこちらの自治協議会提案事業を合わせて2,800万円の予算案として今回お諮りするものでございます。

説明は、以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○議長（高橋会長） ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

ないようですので、令和5年度特色ある区づくり予算について、これでよろしいでしょうか。それでは、次に進めたいと思っております。

### 4 報告

#### （1）南区自治協議会委員推薦会議について

#### （2）「しろねカイトタウン前」バス停移設について（報告）（地域総務課）

#### （3）区自治協議会会長会議について

○議長（高橋会長） 次第4「報告」に入ります。（1）南区自治協議会委員推薦会議について、委員推薦会議の座長である渡邊委員から報告をお願いいたします。質問は、（3）の区自治協議会会長会議についての報告が終わりましたら、一括してお聞きしたいと思います。それではお願いいたします。

○渡邊委員 南区自治協議会委員推薦会議座長の渡邊です。

令和4年11月30日に第3回南区自治協議会委員推薦会議を開催しましたので、ご報告させていただきます。

11月で空席となった公共的団体、民生委員・児童委員について、今期は空席のままとするこ

とで決定いたしました。

次に、資料3をご覧ください。次期南区自治協議会の構成、選出団体についてです。空欄となっていた2号委員1枠は、新潟県立白根高等学校を入れることで決定いたしました。また、空欄となっております第3号委員4枠は、現委員の再任意向などの確認をさせていただくとともに、防災、教育、農業関係者など、区自治協議会に参画していただきたい方を事務局とともに検討していくことになりました。

推薦会議からの報告は、以上です。

○議長（高橋会長） 続きまして、(2)「しろねカイトタウン前」バス停移設について、地域総務課から報告をお願いいたします。

○山際副区長 地域総務課からご報告いたします。

「しろねカイトタウン前」バス停移設についてです。資料は、資料4になります。本件につきましては、先月11月の第1部会に報告をしているところでございますが、これまで区バスのこのような軽微な変更につきましては部会への報告で済ませていたところでございます。ただ、区バスに関しましては、区として重要な課題の一つでもありますので、内容が軽微であっても今後は全体会でも報告をさせていただいて、情報共有をさせていただきたいと思ひ、今回上げさせていただいたところですので。本来であれば、先月の全体会で報告すべきところだったのですが、タイミングを1か月逸してしまいましたすみませんでした。

それでは、資料をご覧くださいと思います。南区では、現在1日7ルート、23便の区バス、月潟住民バスを運行しております。このうち六つの区バスルートと月潟住民バスの運行ルート上にあります「しろねカイトタウン前」バス停につきまして、利用者から移設の要望を受けていたこと、またこの資料の図に示しております商業施設である「ももラコッテ」に第四北越銀行が11月21日に移転したことから、沿線の利用者の拡大、利便性向上を目的として、11月21日から当該バス停の位置を移設したところでございます。なお、まちなか循環ルート「ぐるりん号」につきましては、今回のバス停移設に伴いバス停の停車順が「白根第一中学校前」から「新潟白根総合病院」、「しろねカイトタウン前」という順番から、「白根第一中学校前」、「しろねカイトタウン前」、「新潟白根総合病院」という、順番に若干変更になっております。ただ、この変更では、運行ダイヤには変更はありません。

報告は、以上でございます。

○議長（高橋会長） 続きまして、(3)区自治協議会会長会議について、私から報告をいたします。

12月1日、中央区の万代市民会館で開催されました自治協議会会長会議に出席しましたので、概要を報告します。秋葉区を除く7区の自治協議会会長が出席いたしました。議題は、自治協委員アンケート結果についてと、アンケート結果を踏まえた今後の取り組みについて、令和4年度自治協議会委員研修会及び第8期振り返り資料の方向性についての3点でありました。

まず、自治協委員アンケートの結果を踏まえ、各区で12月から令和5年2月まで、自治協議会全体会での意見交換ではなく意見交換しやすい部会を活用して、部会での区民アンケートの実施とか、あるいは委員研修の実施方法について、課題解決に向けた意見交換を行うということになりました。

令和4年度自治協議会委員研修会については、今年度はこの部会の意見交換をもって充て、今年度も僅か3か月でありますので、この時点での全自治協議会委員が集まっての開催は行わないということにいたしました。

第8期の振り返り資料については、例年同様作成いたしますが、新規追加分として各区の自治協議会の活動、運営における課題解決に関する情報共有として、部会での各区の課題解決に向けた意見交換結果を掲載するということで了解を得ました。詳細につきましては、1月の全体会で事務局から説明してもらう予定です。

自治協議会会長会議の概要の報告は、以上であります。

それでは、この三つの報告について、ご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、なければ(1)南区自治協議会委員推薦会議について、(2)「しろねカイトタウン前」バス停移設についての報告、(3)区自治協議会会長会議については、これで終

わりといたします。

#### (4) その他

○議長（高橋会長） 続きまして、(4) その他に入ります。委員の皆さまから何かございますでしょうか。

○田中委員 庄瀬コミュニティ協議会の田中です。

庄瀬コミュニティ協議会では、放課後児童クラブを設立し、また運営しているところです。そこで、来年度のクラブ利用児童の数が、長期、要するに春休み、夏休み、冬休みに利用したいという児童が44名現在申し出を受けております。現在庄瀬地域生活センターの2階のフロアを借りてクラブを運営しているところなのですが、この44名となりますとかなり手狭になってしまいます。そこで教育委員会にお願い、ご相談なのですが、特に夏休みの期間だけでも、教室は無理としても、休みですから使用しないほかの部屋と体育館を夏休み期間中お借りすることはできないだろうか。44名といいますと、全児童の半数以上になります。今現在もかなり狭い状態が続いておまして、子どもたちが怪我をしないかということで、スタッフもすごく気を遣っているところがございます。そういう状況も踏まえて、来年の夏休みには学校を利用することはできないだろうか。もちろん、これは、実際その期間運営していく場所が異なりますので、こども政策課とも十分協議していかなければならないことなのですが、子どもたちの安全、そして健全育成をしっかりと考えていきますと、ぜひ学校を利用できないかというところがございます。突然の相談で申し訳ございませんけれども、もしお返事いただければありがたいと思います。

○小菅南区教育支援センター所長 教育支援センターです。

学校の利用について、こちらで少し検討させていただいて、また回答させていただきたいと思っております。少しお時間をください。お願いします。

○鞠子委員 3年前だと思ったのですが、前任の建設課長に、大通のところははっきり言って雪捨て場がないから、鞠子さん、何か知恵を貸してよという形で、少しでも空いているとか地元で不便ではないところ、雪が山積みにしてもいいところとかという形で、こういう場所があるということをご提示させていただいて、今日もそういうところに雪が山積みになっているということは確認して、こういう効果が少し出ているのだなと思っています。ただし、まだ少し慣れない部分もあるのかもしれませんが、業者から、逆に言うと除雪業者がここは何か分からないかみたいな話が建設課を通してコミュニティ協議会にいき、できるかできないかは分かりませんが、相談にのるような形ができる部分はまだあるのではないかと。例えば私の家の前なのですが、空き家なのです。駐車場に山積みの雪が置けるのですが、ちょうど知っている不動産屋がいるので、ここに雪を置いていいかと言ったらいいですよと言ってくれたので、そういう場所があれば少しでも道幅が減って雪が持って行けるのではないかとという部分もあるので、ただそこで除雪車が急に住宅が並んでいる中・左に曲がれないから入れないかという問題はあるのかもしれないけれども、業者が困ったことを、逆に言うとそこの中だけの話ではなくて、できるかできないかは分かりませんが、一回地域に落としていただいて、結局業者が困っていることは住民が困るわけです。そういう情報交換をとっていただかないと、3年前でしたか、三日間降り続いたときのようになりたくはないので、今後また降り始めると思いますので、ご検討していただきたいと思っております。うちのコミュニティ協議会はベッドタウンの中ですから、雪を持って行くところがないので、これはどこのコミュニティ協議会も集落とか何かの問題で出てくる可能性は多分にあると思っておりますので、そういう下から上ではなくて、上から下に対する情報共有をお願いしたいと思っております。

○細貝建設課長 ご意見ありがとうございます。日曜日から南区では40センチの雪が降りました。特に今回の雪は、北側の方、黒埼寄りの方で多かったと感じております。大通の皆さんからもいろいろな苦情をいただきましたけれども、鞠子委員が言われるように、地元から協力していただくと除雪もはかどりますし、皆さん方も除雪で苦勞しないような形になるかと思っておりますので、ぜひほかの地域の皆さんも、そういう空き地とか雪を置いてもいいという情報がありましたら、建設課まで教えていただくと大変ありがたいと思っております。大変ありがとうございました。

○川村委員 大郷地区の川村です。

先ほどの中で、第四北越銀行が移動されて、まちの中の方がさらに人通りが少なくなってきたなどと言われていましたけれども、今後、まちを活性化というか人に来てもらうために、考えていることは何かあるのでしょうか。

○石崎産業振興課長 ありがとうございます。まちなかの空き店舗が増えているとか、南区に限った話ではないのですけれども、空き店舗活用の補助金ですとか、市としても取り組んでおります。また、まち歩きのボランティアと協力して、レルヒさんという新潟県のゆるキャラがいるのですけれども、レルヒさんが白根の商店街のどこかにいるので商店街の方からヒントをもらって探しましょうというイベントを企画して、親子100人くらい集まりました。そういうイベントなども通じて盛り上げをしていきたいと思っています。

○山際副区長 地域総務課です。地域の活性化というのは、やはり交流人口の拡大、人に多く来てもらうということにもかかわってきますので、若干お答えさせていただきたいと思います。

これまでも地域の活性化のためには、いろいろと地域の中での取り組み、昔から続く祭りですとかそういうものを大事にしながら、うまく情報発信していったり人を呼び込むということも大事なことだと思いますので、そういうところはこれまで同様にいろいろな形で行政で支援させていただくとともに、また新たな取り組みということも皆さんと一緒に何かできないかということを考えていかなければいけないと思っておりますので、一緒に知恵を出しながら、どうしたら活性化できるのかというのは一緒に考えていきたいと思っていますところでは。

○議長（高橋会長） 川村さん、ありがとうございます。実際、まちなか、本当に三の町の第四北越銀行がなくなってから、車の通り、あるいは人の通り、本当に言葉は悪いのですがゴーストタウン化してきております。近くの商店主が本当に嘆いていらっしゃいました。こうした問題というのは、私は行政任せだけではうまくないのではないかと。自治協議会としても、まちづくりという観点、あるいは区はどうあるべきか、あるいは市民としてどうあるべきか、あるいはいろいろな組織としてどう働きかけるか、こういうものについても来年度の自治協議会の中でも、特に部会でそのような話し合いがなされて、そして区にも提案をしていく、あるいは関係団体にも提案をしていくという、そのようなことも、こういういい材料が出てきましたので自治協議会としても協議や検討が必要という気がしております。この自治協議会で話し合っていきたいと私は考えているのですが、皆さん方も、この全体会ではなかなか議事録に載ったりするので話し合いはできないと思うので、ぜひ部会でそのような話をさせていただければありがたいという気はしております。

○渡邊委員 南区は非常に輪中地区ということで、過去においてもそうですけれども、災害が発生したときに非常に大きな被害を受けているわけです。南区役所、あるいは警察、あるいは消防署というようなそれぞれの司で自分たちの仕事はされていると思いますけれども、連携したものが私の目からすると見えてこないということがありまして、今現在どのような連携で防災が発生した場合に行われる予定なのか、少しお聞きしたいと思います。

○山際副区長 防災の関係につきましては、細かく説明すると時間が非常に長くなるのですけれども、基本的に防災マニュアルをしっかり作って、関係機関、消防、区役所、本庁、警察ですとか、また地域の関係団体との連絡をどのようにとっていくかとか、そういうものはすべてマニュアルに盛り込んで、災害発生時にはすべてそのマニュアルに沿って行動していくとように詳細に定めていますので、ご覧いただきたいということであれば、地域総務課においでいただければ詳細にお示しすることができます。

○渡邊委員 よくやっているということは分かりましたので、一般の人はやはり懸念される場所がありますので、区報などに少しでもいいから記載してPRしていただくとありがたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○松尾委員 まちの活性化のことなのですけれども、やはり白根のまちの中に行ったらまず風合戦が頭に浮かぶと思うのですけれども、これがようやく動き出したということで、さらに発展してほしいということと、夏の祭りがコロナ関係で皆非常に弱気になって逃げていく方向で、段々やらない方向になっているということが寂しい限りです。まちを盛り上げるというのは、今までの伝統の祭り等をいかに工夫してやっていくかが課題であって、どちらかという弱腰で逃げて



いく方向に今なっているのです、それをどうやったら行政も盛り上げて、もちろん町内会の人たちにも活発にやっていく方法を見いだしていくのが南区の活性化につながっていくと思うのです。その中において、各部会の活動の中身を一つプラスしていけば、南区として素晴らしいものができると思いますけれども、私が今一番残念なのは、やはり祭りが全然やれない状態になっているということに少し疑問を感じますけれども、その辺をどう思うのか教えてください。

○山際副区長 地域総務課です。地域の祭り関係の、コロナでこれまでなかなかできなかったというような状況をお話いただきました。それにつきましては、ひとまず最近の取り組みとしましては、先月の自治協議会でご案内させていただきました地域の祭り、イベントの用具整備を応援しますということで補助事業を新たに創設して支援をするということです。まずはそういうところから停滞している祭りを盛り上げていこうということで取り組みを始めたところですが、来年度以降も地域のコロナで停滞している部分につきましては、祭り関係ですとか、商工振興関係でもバックアップさせていただきながら取り組んでいければと思っています。

○田中委員 まちなかが寂しくなってきたという少し暗い話題から明るい将来に向けての私自身の意見として提案させていただこうと思うのですけれども、高校の問題です。南区には白根高校がございます。白根高校の魅力アップということを区民全体でも取り組んでいるところではありますけれども、その成果がなかなか出ていないのが現状ではないかと思います。私自身も白根高校卒業生であります。白根高校は50年以上の歴史もございます。そこで、高橋会長はじめ、多くの優秀な人材を輩出しているところでもありますけれども、言葉は少し悪いかもかもしれませんが、もうそろそろ白根高校はなくしたくはありませんけれども、やはり転換していかなければいけないのではないかという思いが私はいたします。そこで、高校をなくすのではなくて、逆に高校を誘致する。では、どういう高校か。私立の高校。私立の高校のほうが、いろいろな特色ある活動ができるのではないかと思います。今の白根高校の建物を利用して、大学の附属でもけっこうです。特に南区は農業の産地ですので、農業に特化した高校がくればよいなという思いがいたします。それも市内、県内のみならず、全国各地からいろいろな農業を学びに来たいという生徒を集める。海外からも集まってもいいのではないかと。そういうことから、いろいろな特徴のある高校、それによって区も活性化していくのではないかと思います。もし市外、県外から子どもたちが集まれば、その子どもたちがまちなかの家に下宿することもできます。下宿することによって、新潟と県外のいろいろな交流も図れるのではないかと。あるいは海外とも交流を図っていくのではないかと。そういう特色のある高校の誘致ということも、これは区だけではなく、もちろん市、県とも取り組んでいくことによって、また白根が一躍いろいろな形で注目を浴びて活性化できるのではないかと思います。

話がかわるかもしれませんが、今、中学校が部活動を行わなくなるという中で中学校の部活が活性化しなければ、もちろん公立高校に行ってもスポーツ、運動はなかなか活性化にはつながらないのではないかと思います。確かに、今、私立高校も本当に目立った活躍、あるいはいろいろなことで足したような形で学校が経営されているというようなことも考えると、そういう私立の高校の誘致も一つ視野に入れながら、それを活性化する材料にしていったらいかがなものかと最近思うものですから、少し提案させていただきました。以上でございます。

○議長（高橋会長） 大変いい提案をしていただきまして、自治協議会でもこれをテーマに話し合ってみたいと思うような提案だったわけですが、とりあえず地域総務課から、この件についてお答え願いたいと思います。

○山際副区長 いろいろなご提案ありがとうございます。区としてはなかなかスケールが大きすぎて、即答できるものではないのですけれども、確かにご提案いただいたとおり、そういう高校等の誘致によって新たな人の流れが生まれるというのは地域の活性化につながると思いますので、その辺、手続き的なことですかノウハウが区としても経験がないものですから、まずそのようなことを勉強しながら、どのような働きかけすればいいのかということも勉強させていただければ、今お聞きして思ったところ。確かに県立だとなかなか難しいのかなと個人的にも思うのですけれども、私立でそういう学校法人にお話をし、何かいいようなお返事がいただけるという流れになるといいのかなと、聞いていて思ったところですので、そういうところを頭に入れながら、活性化の一助にならないかということも考えさせていただければと思います。ありがとう

ございます。

○議長（高橋会長） 地域総務課からそのような回答がありましたし、今後自治協議会としても、このテーマについてどのようにやっていけばそれが実現できる可能性があるのかどうかも含めて、どのような形で話し合いにもっていくか少し検討させていただきたいと思っています。

ほかにご覧いませんか。それでは、事務局から何かございますか。建設課、お願いいたします。

○細貝建設課長 前回の全体会議の中で、豊木委員から除雪に関して要望がありました。3、4年前の大雪のときに通学路の除雪をしてもらえなかったということで、後で確認しますという回答を前回させていただきましたが、その後、豊木委員が来庁されまして、いろいろ場所をお伺いしました。その上で、今年度の除雪計画に反映させていただいてますので、ご報告させていただきます。

○議長（高橋会長） それでは、ほかにご覧いませんか。事務局からはありませんか。なければ、その他はこれで終わりとさせていただきます。

## 5 次回全体会の日程について

令和5年1月25日（水） 午後2時30分から 南区役所4階講堂  
※全体会開会前に、区教育ミーティングを開催（午後1時30分から）

## 6 閉会

○議長（高橋会長） それでは、以上をもちまして第8回南区自治協議会を終了させていただきます。皆さん、大変ご苦労さまでございました。

（午後3時00分）